

農芸同窓会会報

ご挨拶

同窓会会長 大泉 源之



同窓会会員の皆様は
ご健勝でお過ごしのこと
とお喜び申し上げます。

平素は本会の運営、
学校の活動等の支援に
暖かいご理解とご協力
を賜り誠に有難うござ
います。

さて、平成二十三年
度本会役員改選に当
たつて、新会長に選任さ
れ、浅才非学を省みず
にお受けしました。ご

指導、ご鞭撻をお願い
申し上げます。

長きに亘り、本会の
運営、学校の充実発展
に寄与された服部前会
長に敬意とお礼を申し
上げたいと思います。

同窓会員の構成も
生活文化科の充実等
女性会員も増加してい
ます。皆さんが各分野
でご活躍されています
ことは喜ばしい限りで
あり、母校ではクラブ活

編集・発行
三重県立四日市農芸高校
同窓会事務局
〒510-0874
四日市市河原田町2847
TEL 059-345-5021
FAX 059-345-6996

動など盛んであります。
スポーツの部活動に
おけるラグビーフット
ボール部は全国的にも
有名であり、家庭クラ
ブも実績をあげていま
す。各地域での貢献活
動も積極的に取り組ん
でいるようです。

学校公園化事業 みのりの丘グリーンパーク



最近の取り組みや生徒たちの活躍から

【平成23年度 第62回日本学校農業クラブ全国大会】 【第8回三重県ホームプロジェクトコンクール】



【農業学科のいろいろな取り組み】



農業学科では、地域の人々に草花の栽培を指導してい
ます。また、定期的にJA河原田支店に出向き、「みの
りの丘マーケット」を開いて農場生産物を販売してい
ます。その他、河原田小学校と交流し、小学生に田植
えや稲の収穫などを指導しました。

【生活文化科のいろいろな取り組み】



服飾経営コースでは、染色浴衣に取り組んでおり、今
年のきもの作品コンクールで、大村美穂さんと眞田実
果さんの2名が優秀賞を受賞し、新聞各紙で取材して
いただきました。夏休みを中心に、地元の小学生を対
象にお菓子作りや手芸等を指導しました。

笑顔と感動のある 学校をめざして



校長 竹森 淳二

り厚く御礼申し上げ
ます。

さてご挨拶が遅れま
したが、私は今年の4
月に、この伝統ある四
日市農芸高校に着任
させていただきました。

私にとりまして四日
市農芸高校は、6年前
まで9年間、教諭とし
て勤めさせていただいた
思い出深い学校であり
ます。今、再び本校で

今年もあわただしく
過ぎ去ろうとしており
ますが、同窓会員の皆
様におかれましては、
お元気でご活躍のこと
とお喜び申し上げます。
また日頃は、本校教育
活動に物心両面にわた
る心からのご支援を賜

昨今の四日市農芸高
校の発展ぶりはよく耳
にしていたものの、実際
に着任してその進化ぶ
りにあらためて驚きま
した。井田俊彦元校長
先生の時に始まった学
校改革事業が竹尾泰
前校長先生に引き継

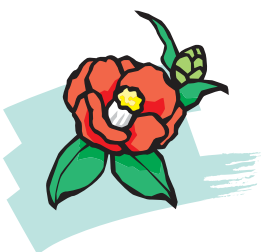
がれ、環境マネジメント
システム認証の取得、学
校公園化事業の推進、
学科改編、新農場の造
成、キャリア教育や起
業ベンチャー教育の充
実、開かれた学校づく
りを進めるための地域
連携事業の強化と、さ
まざまな取り組みを
進められ、素晴らしい
学校環境を整えて頂
きました。それに呼応
するように、四日市農
芸高校で学ぶ生徒たち
は、しっかりと目的を
持つて明るく生き生き
とした高校生活を送っ
ています。私はこれまで
の取り組みを継承しつ

つ、さらに「層生徒たち
一人ひとりが輝く学校、つ
くりをおこない、「笑顔
と感動のある学校」に
していきたいと考えて
います。

今年度の生徒の活躍
ぶりの詳細は、この後の
坂倉教頭の「光り輝く
農芸生」の欄をお読み
いただきたいと思いま
すが、農業クラブや家
庭クラブの活躍、校外
のコンクールへの積極
的な参加と入賞、近隣
地域との積極的な連
携行事、多くのクラブ
の入賞とその成果に
は目を見張るものがあ
ります。

ところで、同窓会
の皆さんに大変応援を
求めています。な
ん

応援に参加するとも
に、多くの同窓生の方
も来ていただき、二
体感を持った応援が
できたこと。このこと
も勝利につながった
要因であると思いま
す。ぜひ年末には花
園に出場を決めてく
れましょう。今年
は県総体優勝、東海
総体優勝、農芸を主
体としたチーム編成
による国体で5位と
安定した結果を残し
てきてくれました。ま
た、大きなプレッ
シャーがかかる中、
花園をかけた選手権
大会でもしっかりと
結果を出してくれま
した。これからも、
生徒一人ひとりを
大切に、感動



と笑顔のある四日市
農芸高校を目指して
職員一同全力で取り組
みます。引き続き温か
いご支援のほどよろ
しくお願い申し上げます。
最後に、同窓会員の
皆さんがよい新年を
迎えられますように、
更なるご活躍をお祈
り申し上げます。

光り輝く農芸生

教頭 坂倉 忠男



同窓会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、本校教育活動に温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

農業教育、家庭科教育の成果として、生徒の活躍や話題がたくさんみられました。農業クラブでは、全国大会農業鑑定競技で3名が優秀賞を受賞しました。平成17年度から取り組んでいる「マコモタケ」栽培は、マコモを利用した新たな商品開発について研究してきました。本校のマコモは、「みえの安心食材」に認定されており、本年度は、生徒たちの提案で、食品業者と提携してマコモを食材とするレトルト食品「マコモタケカレー」を開発し、商品化しました。マコモタケカレーは、しばらくの間、校内の販売室で販売していく予定です。ぜひ、お買い求めいただき、

き、賞味ください。

家庭クラブでは、三重県ホームプロジェクトコンクールで、昨年に引き続き本校生徒が最優秀賞を受賞したほか、「伊勢志摩お弁当選手権」で「サークルKサンクス賞」と「ぎゅーとら賞」をダブル受賞しました。近々、両社が商品化し、各々の店舗で限定販売される予定です。

また、浴衣の染色・縫製に取り組んでおり、2名の生徒の作品が社団法人日本和裁士会主催の「第22回きもの作品コンテスト」で優秀賞を受賞しました。この快挙は、複数の新聞紙上で取り上げていただき、生徒たちの励みになりました。

今年も様々な地域連携に積極的に取り組みました。例えば、河原田小学校児童との合同での田植え・イネの観察・イネ刈りでは、小学生を高校生らしく指導してくれました。夏休みには、主として生活文化科生徒たちが地域の子どもたちを対象として、お菓子やモビール、ストラップ作り

などの講習を行いました。これらの取り組みは、小さな子どもたちにも農業や家庭科の学習に興味を持ってもらう意味と、生徒にとっても

日常の学習をより深める意味で大切な機会と捉え、今後も続けていきたいと考えております。その他、地元河原田地区の皆様とは、ミュージックベル、お弁当のデイサービス、マコモの田植え、園芸教室など、親しまれている取り組みを続けているところ

です。一方、3月の東日本大震災を受けて、災害時における高校生の防災や減災に果たす役割の重要性がクローズアップされております。そうした中、河原田地区で地区住民と学校関係者及び消防関係者が一体となった避難訓練の話が浮上し、本年9月9日に本校を最終避難所として、およそ1,400名が参加するという大規模な訓練が行われました。本校として、生徒たちの専門性や学校の持つ教育力、教育施設等を全面的に活かす形で訓練にのぞきました。特に、生徒たちが、地域住民や小学生及び保育園児らの避難誘導、負傷者等の搬送、救急法の講習、炊き出し訓練な

どに主体的に参加することで、本校生として災害時に何ができるかを考え、実践するための貴重な体験となりました。

部活動においてもたくさんの実績を残してきました。県高校総体において、柔道の個人戦で東海総体に出場したほか、女子バレー部、女子バドミントン部がベスト8に入りました。また、男子バスケットの1年生大会で、見事に初優勝しました。秋季大会では、卓球部男子、バスケ部男子、バドミントン部女子、バドミントン

ン部女子が、ベスト8入りしました。本校の生徒たちの良いところは、頑張っている友達をたたえ合い、応援しあえることだと思います。その象徴的なことが、夏の野球県大会ではな

いかかわらず、バス6台に分乗した大応援団が津球場に詰めかけ、選手たち大声援を送りました。強豪の津東高校（主戦投手が、中日球団にドラフト会議で指名に対し、試合は惜敗しましたが、グラウンドとスタンドが一体となつた接戦の好ゲームを演

じました。

次に、ラグビー部の活躍について触れさせていただきます。昨年の決勝で木本高校に2点差で敗れて以来、先日の決勝戦に勝つために、部員たちは言葉では表せない努力をしてきたことと思います。決勝戦直前に、ある新聞で、農芸は「今季県内無敵の強さ」と報じられました。まさにそのとおり

とのたたかいをかなり感じていたと思われるかもしれません。スタンドには多くの卒業生のみなさんをお見かけしました。決勝独特の重苦しい雰囲気の中、あの大声援が、勝利をもたらす要因の1つであったことは間違いありません。ほんとうに応援ありがとうございました。年末年始の花園では、伸び伸びとしたプレーで農芸旋風を巻き起こしてくることを期待しています。どうか、応援並びにご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

最後に、私自身、はまだ微力ではございますが、二層生徒たちの光り輝く農芸高校になるよう努力を重ねて参る所存ですので、どうかよろしくお願い申し上げます。



平成23年度 生活文化科の近況報告

家庭科主任 杉野 仁美

今年も多くのコンクール、コンテストで入賞しています。また、地域連携事業も様々な分野で実施しております。地域連携は、関連産業で活躍できる人材育成の一環として、地域の方々にご協力いただきながら生徒達の学力と人間性を育む活動となっています。

入賞者紹介

- 第22回きもの作品コンテスト
近畿経済産業局長賞 (3年) 大村 美穂さん 染色 浴衣
日本絹人織織物工業会会長賞 (3年) 眞田 実果さん 染色 浴衣

- 第8回三重県ホームプロジェクトコンクール
最優秀賞 (1年) 雲井 菜月さん
優秀賞 (2年) 杉田 知優さん (3年) 堀 彩奈さん
(1年) 瀬古 めぐみさん (1年) 新保 公子さん
(2年) 堀田 和佳菜さん (2年) 楠田 千秋さん

- 第55回三重県家庭クラブ連盟研究発表大会
優秀賞 (2年) 森 夏輝さん

- 毛糸編み物技能検定
優良 (2年) 土田 千湖さん

- おさかな料理コンクール
アイデア賞 (3年) 矢田 あゆみさん
入選 (3年) 蔵田 眞子さん (2年) 安達 晴香さん

- 第3回美し国伊勢志摩食彩フェア お弁当選手権
株式会社ぎゅーとら賞 (2年) 堀田 和佳菜さん
サークルKサンクス賞 (2年) 堀田 和佳菜さん
キリンビバレッジ賞 (3年) 田中 晶子さん
鳥羽料理研究三重三料会顧問三ツ矢憲生賞 (3年) 高木 春菜さん
美し国伊勢志摩賞 (2年) 中西 加奈さん
美し国伊勢志摩賞 (2年) 西村 優花さん

- H23食肉惣菜創作発表会三重大会
努力賞 (3年) 安達 楓さん
ドリーム賞 (3年) 安達 楓さん

- 第3回かむかむクッキングコンクール
おやつ部門 優秀賞 (2年) 山下 楓加さん

- 第2回高校生スイーツコンテスト
特別賞 (三重のみえっぱり賞) アイデア賞 (3年) 大山 絵梨さん (3年) 久保田 果歩さん (3年) 杉原 愛彩さん
デザイン賞 (3年) 蔵田 眞子さん (3年) 茨木 美帆さん (3年) 田中 晶子さん

- 米粉を使った調理レシピコンクール
特別賞 (3年) 横村 未優さん (3年) 服部 由紀さん

地域連携

- デイサービス (年間6回)
- Agriロマン四日市の皆さんからの授業
- いきいきサロンへの参加
- 河原田セミナー
- ミュージックベル交流会
- 学童保育所体験実習 等



進路指導部より

進路指導部 主任 岩田 礼子

同窓会員の皆様には、ますますご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

昨年度（平成 22 年度）卒業生の進路状況は、別表の通りです。

就職においては、この数年間の経済状況の悪化による厳しい雇用情勢のなか、同窓生の方々のお力添えもあり、就職希望者全員が内定することができました。ありがとうございます。

また、進学においては、生徒自身の努力はもちろんのこと、専門教科の先生方や各教科の先生方の課外指導が実を結び、三重大学生物資源学部をはじめ、専門分野（農業分野及び家政分野）への合格者が増えました。専門学校で学んだことを深化させたいと希望する生徒が増えたことは、専門技術者（スペシャリスト）の育成を目指す本校にとっては大きな進歩と感じております。

さて、現在三学年の生徒も進路決定に向けて引き続き努力をしています。就職に関しては、前年度と変わらず厳しい

進学希望者進路決定状況

進路決定 60 / 79

	全 体	男 子	女 子	指 定 校	受 験 方 法			
					公 募	AO	スポーツ推薦	一 般
四 大	12	6	6	4	2	1	5	0
短 大	11	0	11	7	0	4	0	0
専門学校	36	8	28	10	3	20	0	3
専修学校	1	0	1	0	0	0	0	1
合 計	60	14	46	21	5	25	5	4

分野別進学先

(11月23日現在)

	教 育	農 業 環 境	経 営	医 療	食 物	芸 術	保 育	理 美 容	情 報	福 祉	服 飾	そ の 他
四 大	3	2	3	2	1	1						
短 大	1				5		5					
専門学校				8	7		1	8	2	2	1	7
専修学校											1	
合 計	4	2	3	10	13	1	6	8	2	2	2	7



上し、頑張っております。また、専門学校へは、幅広い分野に進学しています。安易に進学先を選択することのないよう、慎重に指導するよう心がけています。めまぐるしく社会情勢が変化する昨今ですが、農芸高校の良さを生かし、社会に貢献できる卒業生を二人でも多く輩出したいと考えております。今後とも農芸高校発展のため、さらなる指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年度・人事異動

=ご勇退=

学 校 長	竹尾 泰 先生	
講 師 (国語)	和手 麻子 先生	桑名工業高校へ
講 師 (農業)	佐藤 文彦 先生	久居農林高校へ
講 師 (農業)	佐藤 さゆり 先生	伊賀白鳳高校へ
講 師 (農業)	檜作 幸司 先生	相可高校へ

=転出=

教 諭 (農業)	三松 正 先生	久居農林高校へ
教 諭 (英語)	柏木 久美子 先生	飯野高校へ
教 諭 (家庭)	木村 須美枝 先生	朝明高校へ
事務次長	米倉 康之 先生	鈴鹿県民センターへ
事 務	市川 泰大 先生	北星高校へ

=転入=

学 校 長	竹森 淳二 先生	津高校より
教 諭 (国語)	森 卓俊 先生	四日市商業高校より
教 諭 (農業)	前田 竜矢 先生	上野農業高校より
教 諭 (農業)	竹村 保範 先生	新規採用
教 実 (農業)	森川 巧 先生	久居農林高校より
講 師 (英語)	石原 真理子 先生	
講 師 (農業)	氏本 敦之 先生	
事務主幹	相川 好正 先生	飯野高校より
事 務	岩木 聖 先生	県土整備部より

『創立80周年記念誌』好評継続発売中

同窓会では、創立80周年を記念して平成23年3月に『創立80周年記念誌』を発刊致しました。すでに、多くの会員様にお買い求め頂きありがとうございました。引き続き、好評販売中ですのでお買い求めの方は、是非、同窓会事務局までお問い合わせください。

販売価格・・・1冊 5,000円 (送料込み)

【同窓会事務局からの大切なご連絡】

最近、同窓会事務局以外のところから、同窓会又は同窓会事務局と名乗り卒業生（会員の情報を聞き出すという事が頻繁に起きている、というご連絡を幾度も頂いています。同窓会からの電話調査や聞き取りは、一切致しておりませんので、お間違いないようにご注意ください。

【会員のみなさまより会報の原稿を募集します】

同窓会報への原稿を募集しています。会員唯一の情報機関誌へ「会員みなさまのページ」を計画しております。「高校時代の思い出、近況報告、写真」等をお寄せ下さい。（次号会報の原稿締切は、平成24年9月末日です。ぜひ事務局まで。）

【農産物（実習製品）販売所のご案内】

農芸高校では、生徒の実習成果による農産物（実習製品）を校内で販売しております。（季節によって、新米、野菜、卵、草花、観葉植物、ジャム類、味噌など）

販売場所：農業理科棟（新館）1階中央の販売所

販売日時：毎週月曜日と木曜日（午後2時～4時まで）

*学校行事等で休みとなる場合もありますので、お越しの際は、学校ホームページまたは、学校までお問い合わせください。

ご声援ありがとうございます

県大会でのたくさんの応援ありがとうございました。

引き続き、全国大会へのご声援・ご支援よろしく願います。



瑞宝単光章

田中 龍雄 様

（現同窓会理事、株式会社幸泉取締役会長）
（高校第十一回・昭和三十四年卒業）

長年にわたり、造園技能検定にたずさわられ、その功労に対して受章されました。おめでとうございます。

三重県産業功労者表彰

大泉 源之 様

（現同窓会会長）
（高校第五回・昭和二十八年卒業）

市場開拓や産業界の人材育成、雇用の拡大などに功績があった人をたたえる県の産業功労者として受章されました。おめでとうございます。

事務局だより